

Oh!Me



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

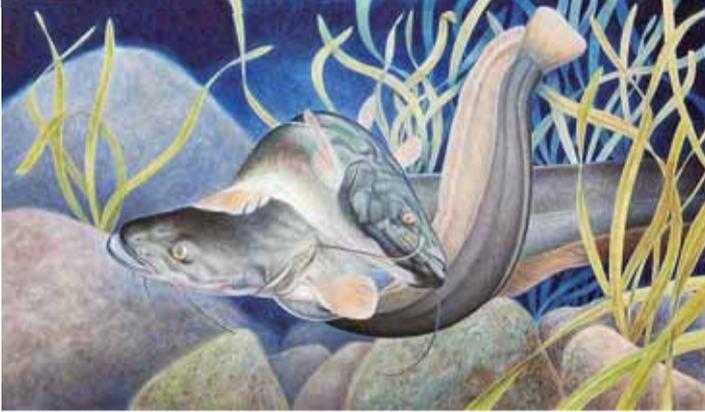
vol.413・4月19日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

素敵な人

まるで本物! リアルな琵琶湖の生き物を描く

細密画で **いまもり ようすけ** 画家・イラストレーター **今森 洋輔**さん(高島市在住・49歳)



かった。琵琶湖のそばで育ち、子どものころから身近にいた魚が描けない事に気がつき、ショックを受けた。そこで、琵琶湖文化館に協力

調べる。はく製を借りることさえある。細密画にウソは通用しない。トレース、下書き、色入れ……、工程は細かく、手間もかかる。根気もパワーも必要だ。「湖が生きていて漁師も健在。琵琶湖にしかない生物もたくさんいます。琵琶湖は世界に誇れる財産です」と、今森さん。15年ほど前、「マキノ自然観察倶楽部」を立ち上げ、自ら会長となって絵を教えている。さらに、6年前からは成安造形大学の非常勤講師として教壇に立ち、若者に琵琶湖の自然の素晴らしさを説き、伝えている。

滋賀県生まれ、滋賀県で育ち、琵琶湖に生息する生物を独自の細密画で描き続ける今森洋輔さん。その作品は、自然の素晴らしさと、命の尊さを余すところなく表現し、見る人の心を大きく豊かにする。

た。イラストレーターとしての仕事は順調だった。だが、20代後半になり、「これでいいのか?」と、悩み始めた。きっかけは、写真家として活躍していた兄の今森光彦さんの作品だった。どの写真にも一貫したテーマがあった。

を依頼し、淡水魚の勉強と調査を始めた。調べていくうちにどんどん興味がわいてきた。東京に行くまでは生き物について詳しく調べたこともなく、琵琶湖や自然の素晴らしさが分かっていなかった。

生命の躍動が伝わる絵
魚を捕るカイツブリ、安曇川の河口に群れるコガモ、産卵するビワコオオナマズ、ギンブナを飲み込むアオサギ……。琵琶湖に生きる動物たちを描き出した作品は、まるで生きているかのようだ。今森さんの絵からは生命の躍動と、自然の素晴らしさが伝わってくる。



「そうだ、これだ!」。今森さんに進むべき道が見えてきた。「古里の自然と、そこに生きる動物たちの生命の賛歌」をテーマに、東京と滋賀を行き来しながら、5年の歳月をかけて魚の絵を描き、画集「琵琶湖の魚」を出版。さらに、98(平成10)年、東京から滋賀に移り住み、「琵琶湖の生物と自然」を見つけ、絵を描き続けている。



琵琶湖がずっと住みよい環境であり続ける事を願いながら、これからも、生き物のおいにする絵を描き、物語をつづり、本にしていきたいという。

古里離れ素晴らしさ知る
最初のころはリアルさを追求したイラストが中心だった。高校を卒業後、大阪のデザイン学校に進学。1年後、東京の姉妹校に編入し、卒業後は東京で図鑑や雑誌などのイラストを数多く手掛け

自分はこれまでたくさんの絵を描いてはきたが、テーマと呼べるものがあつたらうか?……本物そっくりを描くだけなら、写真で充分ではないか?……と考え込むことが多くなった。そんなとき、たまたま「魚を描いて欲しい」という依頼があつた。だが描けな

自然を後世に残したい
細密画を描くときはまず対象を十分に観察し、スケッチや写真で記録を取る。さまざまな角度から写真を撮り、資料を

(取材・澤井) 詳しくは www.gaido.jp/suteki

滋賀生活情報紙 [Oh!Me] はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル **0120-468-012**

八代亜紀

ふれあいコンサート

珠玉の名曲が あなたの心を 静かに揺さぶる!!

4/21(土) 発売開始

7/22日 2回公演 ① 13:30開演 ② 17:30開演

全席指定 一般席 5,000円 (当日¥500増) 3階席 4,000円

野洲文化ホール (月曜休館) ☎ 077(587) 1950

野洲市文化スポーツ振興事業団

野洲文化ホール (月曜休館) ☎ 077(589) 3111

ローソンチケット (Lコード 59237) ☎ 0570(084) 005

CNプレイガイド ☎ 0570(08) 9999

BBCびわ湖放送 (平日10:00~17:00) ☎ 077(524) 0153

野洲文化ホール (月曜休館) ☎ 077(587) 1950

受付時間/9:00~17:00 休館日/月曜※祝日は開館

野洲市小篠原2142 (JR琵琶湖線「野洲駅」下車 徒歩5分)

◎JR 琵琶湖線・新快速なら京都駅・米原駅より26分 ◎栗東ICより約15分 ◎竜王ICより約20分

<http://www.yasu-bs.jp/>

企画・制作 株式会社 デカナル tel.06-6362-7610 〒530-0054 大阪市北区南森町1丁目1番27号 和田ビル4F